

中干しの徹底で過剰生育防止

1 生育概況(コシヒカリ 6/30現在)

現在の生育(指標値比)

平坦地	草丈:長い (112%)	茎数:多い (113%)	葉数の進み: やや早い (+0.6)	葉色: 薄い (SPAD値 -2.1)
中山間地	草丈:長い (110%)	茎数:やや多い (109%)	葉数の進み: やや早い (+0.4)	葉色: 並 (SPAD値 -0.9)

○遅植えのほ場を除いて茎数は多くなっています。また、葉数の進みは前回調査より平年並みに近づいており、葉色は淡くなってきています。

○「コシヒカリ」の出穂期(5月10～15日頃の移植)は、平年より1日程度早い8月2日頃の予想です。

2 調査結果 (普及センター、JA調査ほ)

(1)コシヒカリ

	場所	標高 (m)	田植 (月日)	草丈 (cm)			茎数 (本/㎡)			葉数 (葉)			葉色 (SPAD)			備考	
				本年	前年比	指標比	本年	前年比	指標比	本年	前年差	指標差	本年	前年差	指標差		
平坦地	今熊 (浦川原)	14	5/10	56	80%	112%	550	株当 27.7	90%	112%	10.7	-0.3	+0.7	36.8	-7.2	-2.2	
	長走 (浦川原)	23	5/17	56	-	112%	555	株当 31.7	-	113%	10.5	-	+0.5	36.9	-	-2.1	
	平均			56	-	112%	553	29.7	-	113%	10.6	-	+0.6	36.9	-	-2.1	
	宮口 (枚)	57	5/24	50	109%	100%	429	株当 22.6	96%	88%	9.3	0.0	-0.7	42.2	+4.5	+3.2	全量基肥 肥料
中山間地	和田 (安塚)	133	5/15	60	113%	120%	521	株当 25.3	100%	106%	11.0	+0.9	+1.0	39.8	-0.4	+0.8	
	大島 (大島)	152	5/10	56	102%	112%	617	株当 31.8	127%	126%	10.1	-0.4	+0.1	33.6	-4.6	-5.4	全量基肥 肥料
	菖蒲 (大島)	340	5/18	51	109%	102%	464	株当 22.5	116%	95%	10.0	0.0	0.0	35.8	-1.3	-3.2	
	高尾 (枚)	340	5/18	54	106%	108%	533	株当 29.8	110%	109%	10.4	+0.2	+0.4	43.2	+4.8	+4.2	全量基肥 肥料
	平均			55	106%	110%	534	27.4	113%	109%	10.4	+0.2	+0.4	38.1	-0.4	-0.9	

(2)こしいぶき

	場所	標高 (m)	田植 (月日)	草丈 (cm)			茎数 (本/㎡)			葉数 (葉)			葉色 (SPAD)			備考	
				本年	前年比	指標比	本年	前年比	指標比	本年	前年差	指標差	本年	前年差	指標差		
平坦地	長走 (浦川原)	23	5/16	53	108%	102%	525	株当 27.5	153%	109%	10.9	+1.2	+0.7	39.2	-2.1	-0.8	

(3)つきあかり

	場所	標高 (m)	田植 (月日)	草丈 (cm)			茎数 (本/㎡)			葉数 (葉)			葉色 (SPAD)			備考	
				本年	前年比	指標比	本年	前年比	指標比	本年	前年差	指標差	本年	前年差	指標差		
中山間地	高尾 (枚)	285	5/16	68	115%	136%	645	株当 27.1	193%	179%	10.7	+1.4	+1.7	43.7	+5.3	+1.7	全量基肥 肥料

3 今後の管理のポイント

○中干しを終了するほ場では、浅水の間断かん水を実施して根の健全化を図り、徐々に飽水管理へ移行してください。急激な湛水は、根腐れや下位葉の枯れ上がりにつながります。

○早生品種は平年より2～3日程度早く出穂する予想です。穂肥が遅れないよう注意しましょう。

(5月上旬の移植で、こしいぶきの出穂は7/23日頃、1回目の穂肥は6/30頃の見込みです。

つきあかりの出穂は7/20日頃、2回目穂肥時期は7/6日頃の見込みです。)

○例年同様、病害虫発生予察調査でカメムシ類が確認されています。イネ科雑草が結実しない3週間程度の間隔で農道・畦畔の草刈りを行い、本田防除も徹底しましょう。

○葉いもちの初発、及びセジロウンカの初飛来が6月下旬に県内で確認されています。今後の発生状況に注意してください。

※用水の確保が難しいほ場では、降雨による水の入れ替えにより根の健全化に努めましょう。